

非水ガラス系セメントミルク凝結硬化促進剤

サンコーハードAQ-60分

高炉セメントB種

特徴

- 非水ガラス系セメントミルクグラウト剤のため、恒久的強度を必要とする地盤安定強化、空洞充填に有効です。
- 一般のセメントミルクと比較するとブリージングは殆どありません。
- ゲル化後の初期強度発現は良好です。
- セメント鉱物系組成物ではありませんので、それ自体水と反応して硬化する事はなく、取り扱いが簡単です。

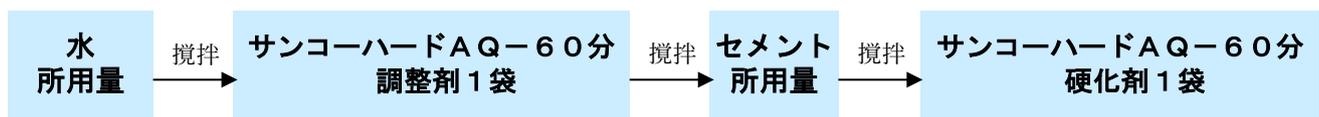
配合表

200L			
高炉セメントB種	調整剤	硬化剤	水
25kg×7袋：175kg	2.8kg	1.4kg	139L

取り扱い上の注意

- ① サンコーハードAQ-60分は硬化剤、調整剤共にアルカリ性ですので、耐アルカリ性手袋、保護メガネ、保護マスク、液がしみ込まない保護着衣、ゴム長靴等を着用し、衣服や身体に触れないようにして下さい。特に目等の粘膜面への付着、袖口、首筋、靴の中には十分注意して下さい。取り扱い後は、手洗い、うがい、洗顔を十分行って下さい。
〈応急処置〉
 - ・目に入った場合は、多量の水で15分以上洗浄しできるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 - ・誤って飲み込んだ場合は、口の中をよく洗浄しコップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて下さい。その際無理に吐かせないで下さい。その後直ちに医師の診察を受けて下さい。
 - ・皮膚に付着した場合は、直ぐに多量の水で、ぬめりが完全に取れるまで洗浄して下さい。異常を感じた場合は直ちに医師の診察を受けて下さい。
- ② サンコーハードAQ-60分の保管、貯蔵に当たりましては、高温多湿とにならない場所に保管して下さい。また、水濡れしないように保管して下さい。

調合方法

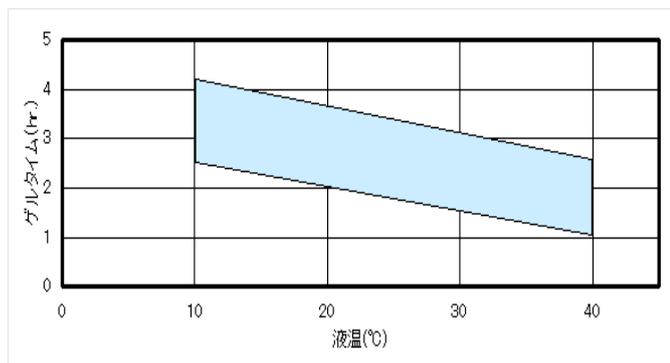


- ① 所用量の水を張り、攪拌しながらサンコーハードAQ-60分調整剤を投入して充分に分散させます。
- ② 次に所用量のセメントを投入して攪拌、分散させます。
- ③ 更に攪拌を続けながらサンコーハードAQ-60分硬化剤を投入し、最後に200Lに調整します。

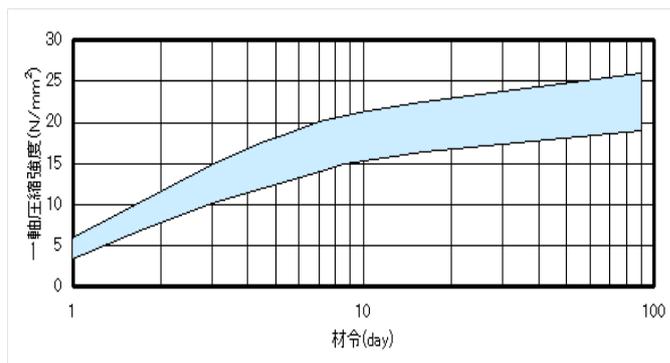
サンコーハードAQ-60分硬化剤は皮膚に触れると刺激性があり放置するとアルカリにより冒されます。取扱い上の注意を守られないと、個人差、付着箇所により違いはありますが、
・皮膚炎を起こし激痛を伴う。
・重度の熱傷を起こす。
などの症状を引き起こします。十分に注意して下さい。

性能

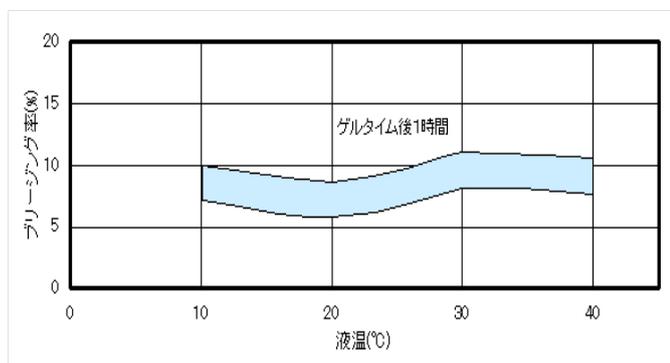
ゲルタイム (液温 20℃ : 120分～220分)



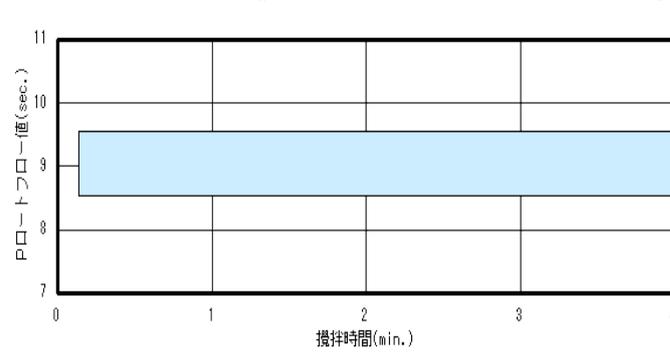
一軸圧縮強度(28日後 : 約20 (N/mm²))



ブリージング率 (液温 20℃ : 6～7%)



Pロートフロー値 (液温 20℃ : 8.5～9.5秒)



荷姿

硬化剤 : 14kg 紙袋入り

調整剤 : 2.8kg ビニール袋入り

溶解上の注意

- ①溶解作業の手順として必ず水 → サンコーハードAQ-60分調整剤(2.8kg) → セメント → サンコーハードAQ-60分硬化剤(14kg)の順に投入してください。
- ②硬化剤は低温では溶解性が悪く、またセメント分散液に投入するため溶解状態が判別できません。したがって硬化剤投入後5分程度は溶解時間に当て、なるべく強い攪拌により溶解して下さい。未溶解分が残った場合は廃棄してください。

使用上の注意

- ①ゲルタイム: ゲルタイムは、調整剤、セメントの分散液に硬化剤を投入した時点から起算しますので、攪拌時間が長くなるとゲルタイムは延長される傾向にあります。
- ②可使時間: サンコーハードAQ-60分を調合した注入液は、2時間前後から流動性を失って硬化を始めますが、攪拌時間、液温などの影響を受け流動性を失う時間が短くなる場合がありますので1時間以内に注入が完了するようにして下さい。

